

【広島市消費者物価指数】

1 平成23年8月の動向

- 広島市総合指数（100.1）は前月比で下落。前年同月比は3か月連続で上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.3）は前月比で2か月連続で上昇。前年同月比は4か月連続で上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.6）は前月比で上昇。前年同月比は2か月連続で上昇。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.1	▲0.2	0.7
生鮮食品を除く総合指数	100.3	0.1	0.9
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.6	0.1	0.4

3 前月からの動き

～教養娯楽は上昇。食料は下落。～

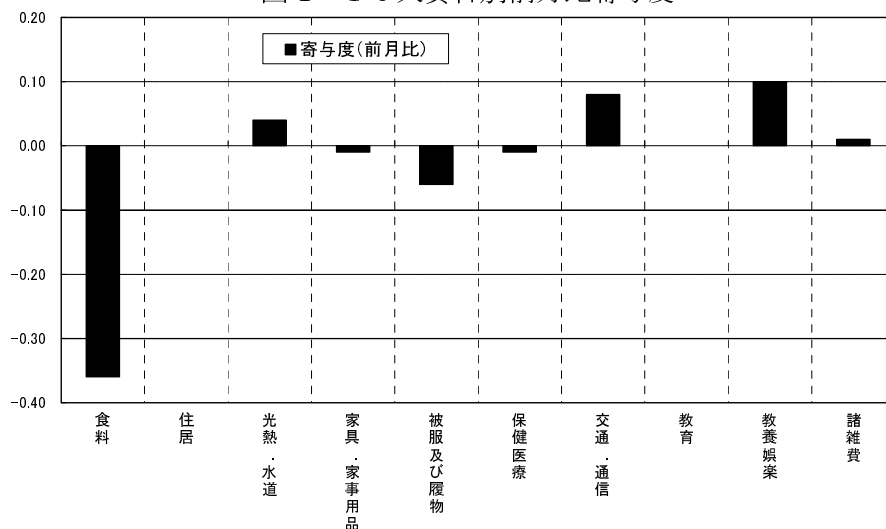
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.1	99.4	99.4	103.6	98.3	98.3	99.2	102.1	98.2	98.6	103.8
前月比 (%)	▲ 0.2	▲ 1.4	0.0	0.5	▲ 0.3	▲ 1.4	▲ 0.2	0.6	0.0	0.9	0.2
寄与度	▲ 0.2	▲ 0.36	0.00	0.04	▲ 0.01	▲ 0.06	▲ 0.01	0.08	0.00	0.10	0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 教 養 娯 楽：教養娯楽サービス（前月比 2.6%、寄与度 0.16）等
- 交 通 ・ 通 信：自動車等関係費（前月比 0.6%、寄与度 0.04）等
- 食 料：野菜・海藻（前月比▲6.4%、寄与度▲0.17）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	2.6%	野菜・海藻 (キャベツ 等)	▲6.4%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	0.6%	魚介類 (まぐろ 等)	▲3.4%
電気代 (電気代 等)	1.1%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲3.9%
交通 (鉄道運賃[JR] 等)	1.6%	肉類 (牛肉[国産品] 等)	▲2.2%
家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	1.0%	シャツ・セーター類 (スポーツシャツ[半袖] 等)	▲5.3%

4 前年同月からの動き

～諸雑費、交通・通信が上昇し、教養娯楽が下落。～

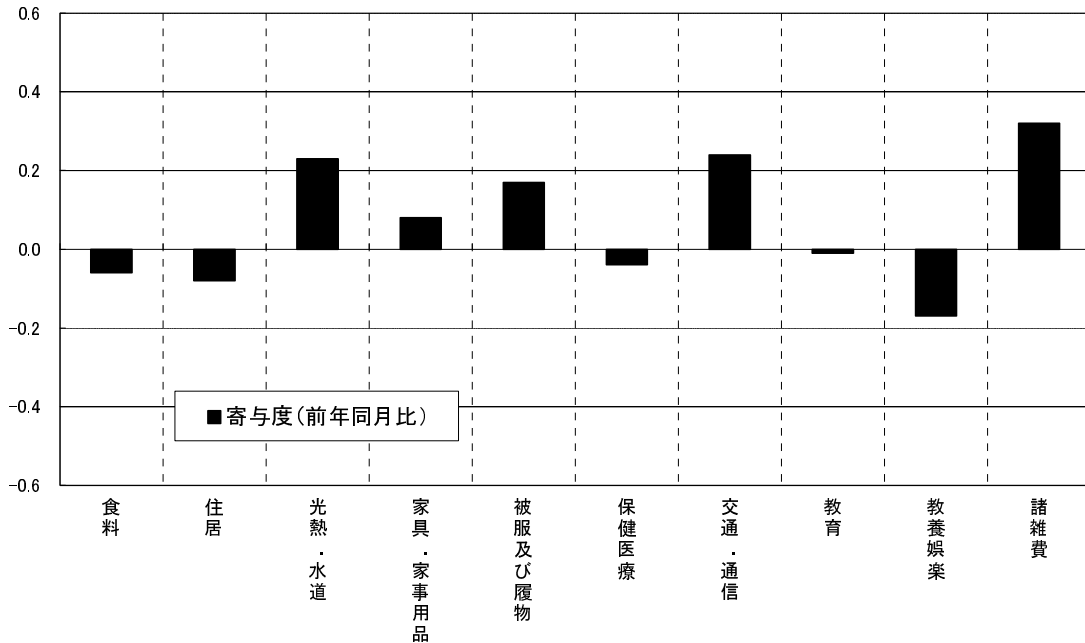
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.7	▲0.2	▲0.4	3.1	1.9	4.0	▲0.7	1.7	▲0.2	▲1.5	5.2
寄与度	0.7	▲0.06	▲0.08	0.23	0.08	0.17	▲0.04	0.24	▲0.01	▲0.17	0.32

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 諸 雑 費：た ば こ (前年同月比 38.3%, 寄与度 0.16) 等
- 交通・通信：自動車等関係費 (前年同月比 3.0%, 寄与度 0.22) 等
- 教 養 娯 楽：教養娯楽用耐久財 (前年同月比▲11.7%, 寄与度 ▲0.23) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費 (ガソリン 等)	3.0%	教養娯楽用耐久財 (パソコン[ノート型] 等)	▲11.7%
たばこ (たばこ[国産品] 等)	38.3%	野菜・海藻 (レタス 等)	▲5.5%
他の諸雑費 (傷害保険料 等)	8.9%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.4%
電気代 (電気代 等)	4.1%	魚介類 (ぶり 等)	▲2.6%
調理食品 (うなぎかば焼き 等)	3.7%	教養娯楽用品 (トレーニングパンツ 等)	▲2.3%